

一般会計七十二億円ほか、今後の熊野町の発展を目標とした

積極型 予算が可決！

平成十五年第二回定例会が三月十一日招集され、二十五日までの会期で開かれた。今定例会では、平成十五年度一般会計予算案は、必要性和緊急性の高い施策について財源を編成する内容となっている。また、特別会計予算案においては、国民健康保険・介護保険がいずれも前年度を上回る案が上程され、全議案を原案どおり可決した。

今年度は

ココ！

に注目



建設部門

- ・矢野安浦線の早急な整備のための具体的な調査設計を実施。
- ・狭小道路の拡張、老朽化道路の補修。
- ・新宮深原地区に仮称「深原地区公園」の整備を推進。
- ・公共下水の普及率を15年度末で70%へ。
- ・未給水地区の解消を推進。



(完成イメージ図)

〈平成15年度予算〉

会 計 名	予 算 額	対前年比
一 般 会 計	72億5,252万7千円	10.5%
国民健康保険事業特別会計	22億1,828万1千円	3.1%
老人保健医療特別会計	21億4,610万2千円	△7.9%
公共下水道事業特別会計	11億9,121万9千円	△5.7%
介護保険特別会計	12億2,083万2千円	1.1%
上水道事業会計	5億2,115万8千円	△2.7%

補正予算

- 一般会計補正予算
 - 国民健康保険事業特別会計補正予算
 - 老人保健医療特別会計補正予算
 - 公共下水道事業特別会計補正予算
 - 介護保険特別会計補正予算
 - 上水道事業会計補正予算
- いずれの会計においても減額補正を行う案を上程、原案どおり可決。

今月の用語解説

※「情報インフラ」

「情報」＋「インフラストラクチャー（基礎・基盤構造）」。
ここでは「情報網基盤整備」の意味で使用。熊野町では光ファイバー等の高速通信網で公民館等の各公共施設を繋ぎ、地域情報化や電子自治体を推進する。

※ファミリーサポートセンター事業

育児の援助を受けたい人で行いたい人が助け合えるよう、地域の中で会員組織をつくり、保育所への送迎等、個別のニーズに答えられるような体制を整える事業。（関連記事P・9）

※仮称「深原地区公園」

新宮深原地区に、スポーツレクリエーションなどを通じて町民が交流できるコミュニティ拠点としての公園を整備する。具体的な設備内容については現在計画。

■当初予算関連質問
 ④ 環境センターにある不要となった焼却炉の解体工事が金額的に大きいのはなぜか。

① 炉の内部や煙突に残留している人体等に有害な物質を、解体時に外部へ漏らさない工法で行うため、通常より高い費用となっている。

② 介護保険へ一般会計からの補填はできないか。予算の見込み方法は、
 ③ 一般会計からは法定負担分のみ支出。予算については

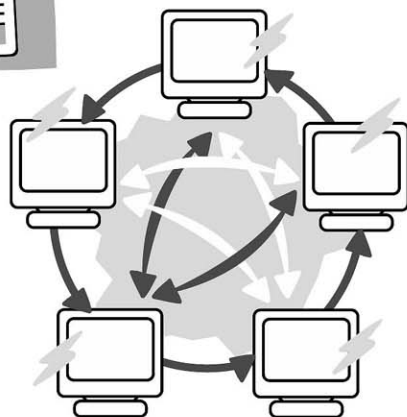
過去三年間の実績を基に試算を行った結果、保険料の増額をする結果となった。

他。



総務部門

地域情報化を積極的に推進していくため地域イントラネット事業として「情報インフラ」を推進。



民生部門

- ・生活習慣病予防事業の推進。
- ・介護保険制度の安定した事業運営と介護予防事業への取り組み。
- ・「支援費制度」の円滑な運営体制を整備。
- ・「ファミリーサポートセンター事業」に着手。
- ・現環境センターの3基の焼却炉を解体撤去。



教育部門

- ・時代にそった教育を展開するための計画を策定。
- ・図書館建設事業の推進。
- ・筆の里スポーツクラブの育成。
- ・「青少年育成とらい・やる21事業」を継続実施。



議会の動き

※「青少年育成とらい・やる21事業」
 青少年の健全育成を目的として、学校と地域が連携した「青少年の居場所・活躍の場」を提供する事業。熊野町においては、「筆まつり唄」を中心とした伝統文化の継承を図るため、平成十四年度から熊野中学校において実施している。

●二月十九日

静岡県引佐郡

三ヶ日町来庁

●三月三日

合併問題特別委員会

●三月五日

議会運営委員会

●三月十一日～十九日

定例会議・予算委員会
 全員協議会

●四月二十七日

町議会議員選挙

●四月二十九日

議会解散

●四月三十日

新規議員任期開始

●五月七日

初議会

●五月十四日

広報委員会開催

●五月二十二日

広報委員会開催